

日刊 動労千葉

80.12.16

No. 608

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五～六（公衆）品五七（二二）七二〇七

12・7全国総決起集会での
中野書記長特別報告（下）

手負い熊となって叩いぬく

当局の武装親衛隊・動労「本部」革マル
反動分子粉碎——動労大改革を

（前号より続く）

彼らは、反対同盟と労働連帯をにかけて闘うわが動労千葉に対し、最初は暴力のどろり喝でおそいかかった。昨年4・17津田沼電車区ではわれわれの最も戦闘的に闘う組合役員が支部長以下全執行委員がかれらのために頭蓋骨陥没などの重傷を負わされた。

われを弾圧せい、処分せいということを公然というにいたった。そして、それをうけた国鉄当局は、本年四月春闘をめぐるかれらの襲撃を容認し、それに反撃を加えてわが拠点を防衛したわが動労千葉の方に解雇処分をもつてむくいてきた。そして今また、この決戦を前に一部の裏切り分子を使つてスト破り、闘争破壊をたくらんでいるのであります。

前進も、三里塚闘争の勝利も絶対にありえない。今、彼らは小谷教宣部長なるものが社青同解放派にやられたというにとびついて、あの破産した「水本謀略」運動の二の舞として「小谷謀略」運動を全国的にやっている。こうした路線的にも労働運動ならざる労働運動、労働組合の仮面をかぶった労働組合ならざる労働組合へと動労を変質させようとしている革マル反動分子を、われわれは三月闘争の爆発をもつて全戦線から断固として粉碎していく、このように決意したのであります。

全国からの圧倒的
支援を要請する

ぜひと来年二月、三月には、この千葉に巨万の大衆を集結させてほしい。われわれはその先頭で断固としてたたかいに決起します。

わが動労千葉は労働連帯の基本構想である「農民は農地を武器に、わが国鉄労働者は鉄道を武器に」——この言葉を合言葉に、これまでたたかってまいりました。この間、数波にわたるストライキを敢行し、そして今日にいたっております。

われわれはこの全成果をかげ、動労千葉結成の真価をかけて、来年三月へむけ、今から断固として闘いに入つてゆく決意であります。

すべての諸君。わが動労千葉のたたかいに圧倒的な支援を要請します。反対同盟とわが動労千葉を中心とするたたかいにすべての皆さんが、本日の集会を新たな起点に、全力を傾注して総決起されることを心から要請して、動労千葉を代表しての特別報告いたします。（拍手）

三里塚・ジェット闘争貫徹／「国鉄35万人体制」粉碎／

労働連帯の旗を高くかかげ、労働者の底力をみせてやりたい

われわれは何よりもこのたたかいをとおして日本階級闘争がまだ確固として確立できなかった労働連帯の路線にみがきをかけ、発揮してゆき、三里塚闘争の勝利はこのなかにあるということをおお胆にさし示していきたいと考えております。

われわれは来年三月、手負い熊となろうとも、このたたかいにわが動労千葉はもとより反対同盟そして三

鉄道を武器に、年末年始をつらぬく闘いに突入する！

皆さん、81三里塚は文字通り決戦局面を示すでしょう。この81年三里塚闘争にわれわれは勝つのか、勝たないのか。ここにすべてが結晶されます。

わが動労千葉は上は58才から下は18才まであらゆる層を集結した労働組合であります。しかし、その労働者一人ひとりが本当にその気になってエネルギーを発

揮したらどういう力を発揮するのか、われわれは見せてやりたい。

すべての皆さん。われわれは先月末の定期大会終了後、十二月、十の支部で定期大会を開催してこの大会方針を徹底する作業にはいつております。そして一月十四日の旗開きを皮切りに一月二十四日は反対同盟と共催による千葉における総決起集会を闘争開始の場として、皆さんがたの圧倒的

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！